

20猿協発第7471号

平成20年10月6日

国土交通省 道路局長 様

北海道猿払村長 森 和 正



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（回答）

平素、大変ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。今後とも特段のご配慮賜りますようよろしくお願い申し上げます。

道路中期計画も5年スパンになったこと将来計画に大変、影響が大きいと考えます。特に町村財政は厳しき折、事業採択は別として実施に当たり調査・設計及び事業実施となれば心もとなく、時に道路特定財源が次年度より一般財源化されることになり、不透明感が増すのみです。

私は、ほんの一部を除き、道路特定財源が無駄とは感じません。国民の認識が問題であると思います。道路は自分の都合の良いとき便利なものと考え、公共施設と考えていない人たちが多すぎます。もっともっと現在の道路、将来の都市計画ビジョン、道路がもたらす意義と地域の発展性を考えていかなければならないと存じます。一つ道路を造ることによって町並み形成は見違えるほど変化いたします。

さて、標記の件につきまして、別紙のとおり回答いたします。

・時代背景から道路なくして生活していくことはできない。他の行政区域に行くには、国道238号しかなく、災害等の有事のこ
とを考えた場合、住民の安心・安全を更に強化すべくバイパス整備が必要と考えます。

更にバイパス化は災害等を考え、将来を見据えた場合、住民に必要なかつ安全・安心をもたらすことが大きな課題である。

・国土を保全するためには、必ず必要なものであり一般道路のみならず高速化も必要であり、村道・農道・林道も絶対必要なもの
である。ただ、造れば良いというものでなく公共施設である限り、維持管理費は将来とも付きまとうものである。よって、道路
特定財源が必要となる。

・人口減少・少子高齢化ゆえに安全性を考え、整備された道路事業は必要であり、地域活性化を図る意味から、雇用の確保及びI
ターン・Uターン促進のためには、これからの目的が重要である。

・重点的目標として道路特定財源は復活すべきであり、一般財源化には不安を感じる（前置きも含む。）

○現状

１．国道２３８号は、当村の唯一幹線道路であり、最短距離で他市町に連結する道路である。

しかし、災害・救急救命時、特に冬期間は、吹雪等により交通遮断が多く１路線では支障があり、バイパス道路が必要とされている。

２．国道２３８号は、村内約３６ｋｍで、内、約半分は海岸線沿いであり、時化並びに温暖化と思われる海岸侵食により国道が決壊し、現在復旧工事が進められている情勢にあります。

３．国道防雪柵の交通安全性を考えた恒久的設置

○課題

- ・ 山線道路の改良
- ・ 橋梁の拡幅改良
- ・ 泥炭土質であるがゆえに橋へ直結する道路段差の解消
- ・ 観光施設等案内標識板の設置
- ・ 橋梁の有効利用として水道管渠等の添架の許可と公共施設としての橋梁改修、架替の場合の工事費財政負担の免除
- ・ バイパス路線を建設し、現在進められている国道４０号に直結する道路が必要な状況となっている。
- ・ 独立法人等の道路情報等の開示

あらゆる災害に対し、対策を講じるのは国の責務と考えます。抱える現状に対し国道が決壊しないことは勿論のこと、海岸は、急速に侵食されています。国土を守る視点から早急に保全措置が課題と考えます。

夏場の波しぶきによる道路の損耗、冬期間の北西風の吹雪による視界が０となる非常事態が続発しております。部分的防雪柵の措置が課題であります。

シーリング減により地域の再生・課題は、地域経済の衰退、雇用確保、企業の倒産が相次ぎ、原油の高騰、食糧危機各商品の値上げ、国民は辛抱に絶えている。

当地域はまだまだ発展途上にあり、道路の新設・維持補修・除雪対策・道の幅員が狭く駐車できない状況にもあり、付属した駐車帯も設けられず、道路側面に駐車帯も必要で交通安全上も必要である。

道路建設事業は、住宅建設事業に関連し必要不可欠な事業で、統計上も景気動向に大きな活力を与えている。

景気向上による雇用確保がなければ住民は生活できない状況にある。

そのためには、道路対策事業、関連した住宅建設対策による事業等のインフラ整備の発注が何より大きい要素を秘めている。それに比べると無駄と思える事業などは極々小さいものである。ただ、談合等の問題は好ましいことではない。

車道を作るのみならず、現在も進められているが両サイドの歩道を構築整備することにより、より安全で快適な道路整備の確保に繋げることができる。

曲線をより直線化を図ることが課題である。

凍結防止対策は勿論のこと、春先凍結路面融雪時シャベット路面状況の除排雪対策が是非とも必要である。

河川増水による国道冠水の解消対策および国道両サイド歩道継ぎ手等及び縁石と近年、特に海岸線国土侵食が著しく、国土を保全するのは当然、国の大きな使命であると考えます。

現在北海道で海面水被害に対する保全事業を実施しているが、国土保全管轄の変更を望むものであり、国道保全対策の観点から建設海岸・農地海岸の侵食対策を国直轄事業として頂きたい。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

様式 ④

北海道猿払村

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
植樹	海岸地帯の植樹（潮風による塩害防止対策をいかにするか。成功した場合、画期的な技術評価となることであろう。 舗装路面の亀裂	・塩害住宅対策 ・塩害道路路面対策 ・地吹雪対策 ・路面の平行的均一性により交通安全上効果がある。	町並み景観
猿払村・中頓別町間 バイパス道の施工	猿払村から浜頓別町クッチャロ湖裏を回り中頓別町（もしくは下頓別）へのバイパスの施工	バイパス中央部、付近から国道 40 号の高規格道路への接続により救急救命、物流の流れが変わり、医療圏域の拡大と物流の迅速化を計ることができる。	道北の経済圏域・医療圏域・生活圏域の拡充に資する。